

ダークマスター 2019 TOYAMA

原作：狩撫麻礼

画：泉晴紀 (株)エンターブレイン「オトナの漫画」所収

脚色・演出：タニノクロウ

タニノクロウ×オール富山

マスター：六渡達郎

若者：善雄善雄

青年：古池大地

ヤクザ：坂本好信

若者の彼女：瀬戸ゆりか

風俗嬢：結城まゆみ

常連客：石川雄士、大野貴市
児玉雄太、佐藤潤子
ノジダイスケ、森田翠

美術：稲田美智子

演出助手：広田郁世、宇野津達也

企画制作：(公財)富山市民文化事業団

協力：庭劇団ペニノ

【あらすじ】

富山にある、とある食事処。超一流の腕を持つマスターが一人でやっているが、偏屈な人間性と極度のアルコール中毒のため全く客がこない。ある日、ひとりの若者が東京から客としてやってくる。自分探しをしている無職の男だった。マスターは自分の代わりにここの料理人になれと提案し、料理経験のない若者にイヤホン型の小型無線機を渡す。自分は二階に隠れ、無線を使って若者に料理の手順を伝えるというのだ。行く当てもない若者はそれを引き受け、やがて有名な行列店になる。しかし、あの日以来マスターの声は聞こえるが姿を見かけない…。

2019.3/7(木) - 10(日) 全5回公演

オーバード・ホール舞台上特設シアター

キヤラスト決定

美術製作スタート



一般公募で選ばれたキャスト・美術スタッフとともに《オール富山》という座組みで、芝居をつくる——。

オーバード・ホールがタニノクロウを迎えて挑む、かつてないプロジェクトが開始した。特に経験不問のスタッフ公募は、全国でも類をみない大きなチャレンジ。しかも圧倒的に作り込まれた美術で高い評価を得ているタニノの舞台となると、かなりハードルが高い。初めてのトライに期待と不安が入り混じる。

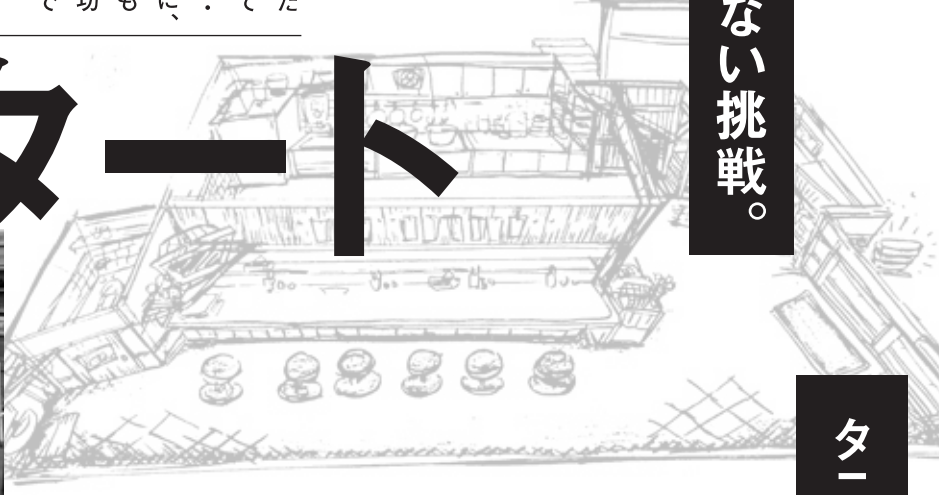
11月3日、28名の美術スタッフとともに

に製作が開始。今作の美術を手掛ける稲田美智子によるプラン説明からはじまり、セットの基礎となるパネル製作が始まった。稲田はこれまで「地獄谷温泉 無明ノ宿」などを手掛けた美術家で、タニノの絶大な信頼を得ている。今後、完成までオーバード・ホール技術スタッフの毎熊とともに、指導にあたる。製作初日、タニノも駆け付け「このプロジェクトが成功したら大感動だと思っ。最後まで頑張ろう。」と激励した。

物語の舞台となるのは、どこにでもありそうな食事処。入口のドア、カウンター席から厨房、階段まで全てをセットとして作り、オーバード・ホールの舞台上に架空の店舗を出現させる。3月7日の初日に向けて、最初の一步を踏み出した《オール富山》プロジェクトに「期待ください！」



経験不問。
美術スタッフ公募という、かつてない挑戦。



タニノクロウ×オール富山

ダークマスター 2019 TOYAMA

12月21日(金) チケット発売開始!

2019.3/7(木) - 10(日) 全5回公演
オーバード・ホール舞台上特設シアター

■ 開演時間

	3/7(木)	3/8(金)	3/9(土)	3/10(日)
13:00			●	●
18:00			●	
19:00	●	●		

■ チケット料金 (全席自由・税込)
一般 3,800円 / U-25 2,800円
※U-25: 観劇時に小学生以上25歳以下対象(入場時に身分証が必要です)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

■ プレイガイド
アスネットカウンター TEL.076-445-5511
月曜定休 / 月曜が祝日の場合、翌平日休み
アスネットオンライン <http://www.aubade.or.jp>

チケットぴあ TEL.0570-02-9999 (Pコード 491-043)
ローソンチケット TEL.0570-084-003 (Lコード 56931)